

— ごあいさつ —



会長
山田 清和



理事長
田中 豊浩

皆様には、平素より、格別のご愛顧、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで天草信用金庫は令和4年度の決算におきましても更に健全経営を向上させるための適正な収益を確保することができました。これも偏に会員をはじめ地域の皆様の長年に亘るご支援の賜物と、心より感謝いたしますとともに厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度を顧みますと、ロシアによるウクライナへの侵攻などを契機として国際的な原料価格が上昇している中、日米の金利差を背景とした急激な円安の進行が国内の企業物価上昇に拍車をかけております。そのため、価格転嫁が困難な中小零細企業の業績に懸念がみられ、当金庫は事業者の資金繰り支援はもとより、地域創生に於ける地域関係支援機関や業界等外部支援機関と連携した本業支援などの総合的な金融サービスの提供を通して、地域活性化に取り組んでまいりました。

特に地域創生への取り組みにおいては、天草市、長崎大学水産学部と連携した水産関連事業者との個別相談会・出前技術相談会や中小企業経営者セミナー開催による事業者支援の実施、上天草市においては地域事業所へ事業承継セミナーや個別相談会への参加を積極的に募り、小規模事業者支援ネットワークを活用したハンズオン支援を実施しております。また、令和5年2月には熊本県よろず支援拠点と提携し、専門のコーディネーターと連携した事業者相談・支援を開始しております。加えて中小企業119を活用した外部専門家による課題解決相談会を実施するとともに、全国商工会連合会の共同・協業販路開拓支援補助金を活用し、中小企業・小規模事業者等の商品展開力・販売力の向上を図っております。種々の支援策と併せて令和4年度より職員のスキルアップと課題解決支援・伴走支援の実現を目的に、あましんビジネスサポートチーム(ABS会議)を発足し、事業者支援体制の強化・充実に努めております。

更に昨年6月に制定したパーパス並びにSDGs宣言に基づく事業活動の一環として、「懸賞品付き定期預金」の募集総額の0.05%を天草管内の子ども食堂6団体へ寄附するとともに、地元の高校生を対象とした「あましんフォトコンテスト」を実施するなど、天草の将来を担う子供たちを支援・応援しております。

最後に本年7月オープンした天草市陸上競技場は当金庫が命名権を取得し、愛称を「あましんスタジアム」と命名、ネーミング・ライツパートナーとして、これまで以上に地域の文化やスポーツ振興に積極的に関与することで、地域の更なる発展に貢献して行く所存でございます。

このディスクロージャー誌では、令和4年度における当金庫の経営・財務内容、業績、業務などをご報告致しますとともに、地域経済活性化や産業振興等への思い、地域貢献活動等々の取り組みをご紹介します。

令和5年度におきましても、お客さまからいただいている信用・信頼が当金庫にとって最も大切な財産であると認識し、更に「健全経営」を追及致しますとともに、地域密着金融の機能発揮・強化を図り、この地域社会の持続的な発展の牽引役としての自覚を持ち、「徹底した地元優先の運営」を継続して実践致します。今後も会員をはじめ皆さまのご愛顧お引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年7月

当金庫の基本的な考え方

経営理念について

共存 共栄

天草信用金庫は、地域の中小企業や個人のお客様のための協同組織地域金融機関です。協同組織は、『相互扶助』を基本理念としており、会員はじめお取引先並びに地域のニーズにお応えすることが社会的使命であると考えています。

経営ビジョンについて

到達可能な長期目標

ビジョンとは、未来像や理想像と言われるものですが、当金庫では『到達可能な長期目標』と考えています。

当金庫の3つのビジョンは、いずれもこの地域社会が豊かになることを願っており、長期目標への到達を目指し、方針や事業計画を企画立案しています。

中小企業
の発展

地域社会
の繁栄

住民生活
の向上

いつの時代でも、次の4つの方針を確実に実行し、当金庫の存在価値を高めていきたいと考えています。

経営方針について

4つの方針

1. 健全なる経営を維持し、会員並びに預金者の保護に万全を期すると共に金融機関としての信用を昂める。
2. 郷土の金融機関としての特性を発揮し、地域経済発展のための積極的な融資をなすと共に貯蓄の増強を図る。
3. 創意工夫と計画性による経営の合理化と近代化を推進する。
4. 人材を登用し職員の資質向上を図り並びに生活の安定に努める。

パーパスについて

*パーパス = 存在意義

共に描き・育み・成長し、
天草信用金庫は活力あふれる
共創社会を目指します。

当金庫が地域社会において何のために存在し、地域の未来に向けてどのように貢献できるかなどの想いをもち、パーパスを制定しています。このパーパスは経営理念と並ぶ最重要概念として位置付け、事業活動の基軸として活用することとしています。

※パーパスのコンセプトや基軸とした事業活動については6・7ページをご覧ください。

事業計画について

事業計画と具体的取組み

事業計画は、前年度実績等を踏まえ、また、3カ年毎に策定する長期計画についても、必要に応じて見直ししながら、貸出金や預積金の増強・不良債権処理の促進・適正収益の確保・地域貢献等について、計画目標を設定、適時適切に具体的取組策を企画立案、実行しています。そして、その目標達成に向け、実績管理及び検証を日常的に行い、追加の改善策を講じるなど、PDCAマネジメントサイクル機能発揮に努めております。

なお、当金庫は協同組織の地域金融機関で営利を目的としていませんが、法令等遵守及び各リスク量を見極めつつ、適正収益の安定的・継続的確保は、当金庫の健全性を向上させるとともに、地域経済の活性化、産業振興の支援をはじめとする地域社会への貢献、様々な奉仕、徹底した地元優先の運営強化充実に取組んでいくうえで必要なことと考えております。